

砕石を知ってもらおう！

十一月十九日(日)に岩手大学で開催された「ふるさと発見！大交流会 in Iwate」に出展させていただきました。岩手県内の企業が学生さんと直接交流する場で砕石業を紹介することができ、大変有意義な交流会でした。



砕石ができるまでの工程と砕石の用途についてポスターとジオラマでわかりやすく展示しました。



開場時刻になりお客さんがどっと入ってきました



かんぶんさんのブースではキャラクターの「ぶんちゃん」が頑張っていました



同じ列では二戸市役所さんが漆をメインに展示していました。



プレゼン評価で9点いただきました。大満足です。



女子学生への説明は特に念入りです



興味津津の男子高校生



～二戸でのカーリングの話～

二戸を発祥とする『岩手県カーリング協会』が『目指せ！オリンピック』のスローガンのもと1996年に設立されて20年余りが経過しました。二戸市出身の苫米地美智子選手がソチオリンピック出場を成し遂げ、オリンピックが現実のものとなりました。今二戸市では、カーリング専用施設の建設を計画しております。全国のカーリング協会は24都道府県にあり競技人口は約2500人です。まだ競技人口は少ないかもしれませんが、熱狂的なカーリングフリークは全国のカーリング大会に行脚するチームもあり、毎年二戸で開かれる「イーハトーブカーリングフェスティバル」には全国から130人の方が集いました。このような背景から、新幹線二戸駅に近いところにカーリング場を建設することができれば、最も新幹線駅から近いカーリング場として、通年で大会や、合宿などを誘致できると私は考えております。交流人口の拡大に全国にまだ少ないカーリング場の建設は大きな効果があるのです。カーリング場建設の気運を盛り上げていきましょう！



～知名度～

普通の人は、砕石がどんなところで作られているのかわからない。道路が何層かに分かれてできていることを知らなくても困ることはない。名は体を表すというが、そもそも砕石という体は人目に触れることがない。よって、砕石という名は、世の中で使われることがない業界人用語と化す。普通の人に砂利の一部が砕石とされているのは、名の知名度の差によるものだろう。知名度は低くても砕石は重要な素材であることに変わりはない。



受賞

当社は、岩手県警察署と自動車安全運転センター岩手県事務所から「優秀安全運転事業所」として、銀賞を受賞しました。この制度は、運転記録証明書を活用し、職場ぐるみで安全運転や交通事故防止に努め、交通違反・交通事故の件数が一定以下の事業所が表彰されるものです。これを励みとし、今後もますます安全運転に取り組んでいきたいと思っております。年末を迎え、皆様慌ただしい日々を過ごしている事とは思いますが、余裕を持って、2017年の最後を締めくくりたいですね。



冬の交通事故防止県民運動統一スローガン 「気のゆるみ 一杯だけが 命取り」

編集後記 あっという間に12月になってしまいました！今年も大変お世話になりました。来年も求められる会社フクタクでありたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

年末年始休業 平成29年12月30日～平成30年1月7日とさせていただきます。

熊本地震その後

甚大な被害をもたらした熊本地震の被災地を視察する機会を得た。津波のように跡形もなくなったというわけではないので、街は日常を取り戻し、行く先々、手に取る品々に「くまモン」が増殖していかにも元気に見えたが、やはり復興にはかなりの年月を要するようである。重要な観光資源である熊本城を修復する経費だけでも640億円と試算されている。災害に強い国土を整備することは日常の安心をもたらすと感じた。

